

焼津市スマートシティ推進協議会 令和7年度 第3回運営委員会

日時：令和8年2月13日（金）15時～17時

会場：焼津市役所4階 応接室

開会

| 時間 | アジェンダ |
|-------------|------------------------------------|
| 15:00 | 開会 |
| 15:03~15:05 | 報告事項 1 ・新規会員の紹介 |
| 15:05~16:00 | 報告事項 2 ・事業進捗について |
| 16:00~16:10 | 報告事項 3 ・第 2 期焼津市DX推進計画（案）について |
| 16:10~16:17 | 報告事項 4 ・モニター制度について |
| 16:17~16:22 | 報告事項 5 ・デジタルを活用した地域見守りの取り組みについて |
| 16:22~16:40 | 協議事項 ・R 8 事業推進に向けて |
| 16:40~17:00 | 意見交換（全体を通して） |
| 17:00 | 閉会 |

報告事項 1 新規会員の紹介

報告事項 1 新規会員の紹介

正会員41団体（令和8年2月13日時点）

| No. | 正会員 企業・団体名 |
|-----|------------------|
| 1 | 焼津市 |
| 2 | 一般社団法人焼津市観光協会 |
| 3 | 大井川商工会 |
| 4 | アクティブおおいがわ |
| 5 | 大井川農業協同組合 |
| 6 | 小川漁業協同組合 |
| 7 | 社会福祉法人焼津市社会福祉協議会 |
| 8 | 焼津漁業協同組合 |
| 9 | 焼津市魚仲水産加工業協同組合 |
| 10 | 焼津市自治会連合会 |

| No. | 正会員 企業・団体名 |
|-----|---------------------|
| 11 | 焼津商工会議所 |
| 12 | 焼津市商店街連合会 |
| 13 | 焼津ホテル旅館組合 |
| 14 | あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 |
| 15 | アジア航測株式会社 静岡支店 |
| 16 | 一般社団法人トリナス |
| 17 | 一般社団法人UDCKタウンマネジメント |
| 18 | SBK協同組合 |
| 19 | NTT西日本株式会社 静岡支店 |
| 20 | NTTビジネスソリューションズ株式会社 |

報告事項 1 新規会員の紹介

正会員41団体（令和8年2月13日時点）

| No. | 正会員 企業・団体名 |
|-----|---------------|
| 21 | NPO法人 e-Lunch |
| 22 | 株式会社イシダテック |
| 23 | 株式会社いちまる |
| 24 | 株式会社Wellmira |
| 25 | 株式会社SBS情報システム |
| 26 | 株式会社S'PLANT |
| 27 | 株式会社サンロフト |
| 28 | 株式会社静岡銀行 焼津支店 |
| 29 | 株式会社Geolonia |
| 30 | 株式会社JIN |

| No. | 正会員 企業・団体名 |
|-----|---------------------|
| 31 | 株式会社スマートホテルソリューションズ |
| 32 | 株式会社ゼンリン 静岡営業所 |
| 33 | 株式会社橋本組 |
| 34 | 株式会社吉村 |
| 35 | xID株式会社 |
| 36 | 合同会社うさぎ企画 |
| 37 | しずおか焼津信用金庫 |
| 38 | ナカタケテック株式会社 |
| 39 | Beginners Tech株式会社 |
| 40 | 巻田油業株式会社 |

報告事項 1 新規会員の紹介

正会員41団体・パートナー会員9団体（令和8年2月13日時点）

| No. | 正会員 企業・団体名 |
|-----|------------|
| 41 | 山福水産株式会社 |

| No. | パートナー会員 企業・団体名 |
|-----|--------------------------|
| 1 | 一般社団法人SDGsデジタル社会推進機構 |
| 2 | 株式会社ウェザーニューズ |
| 3 | 株式会社オリエンタルコンサルタンツ |
| 4 | 株式会社静岡ビジネス社 |
| 5 | 株式会社電通総研 |
| 6 | 株式会社はんぽさき |
| 7 | 国際航業株式会社 静岡支店 |
| 8 | 東京海上日動火災保険株式会社 |
| 9 | 富士通Japan株式会社 |



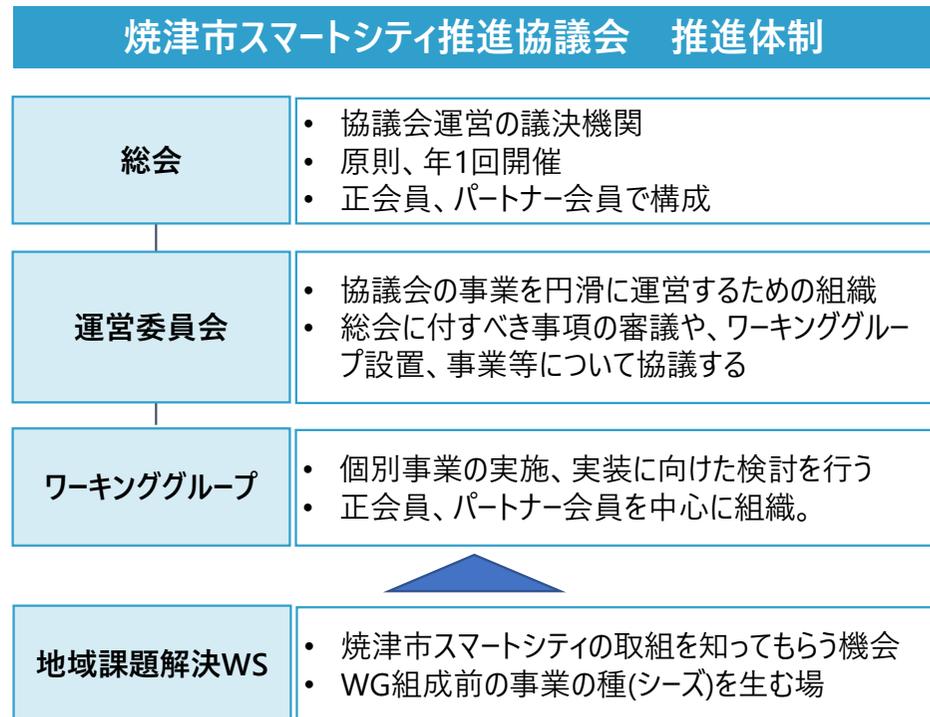
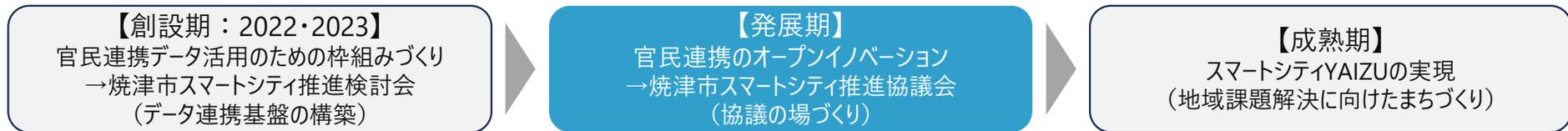
新規パートナー会員

報告事項 2 事業進捗について

報告事項 2 事業進捗について

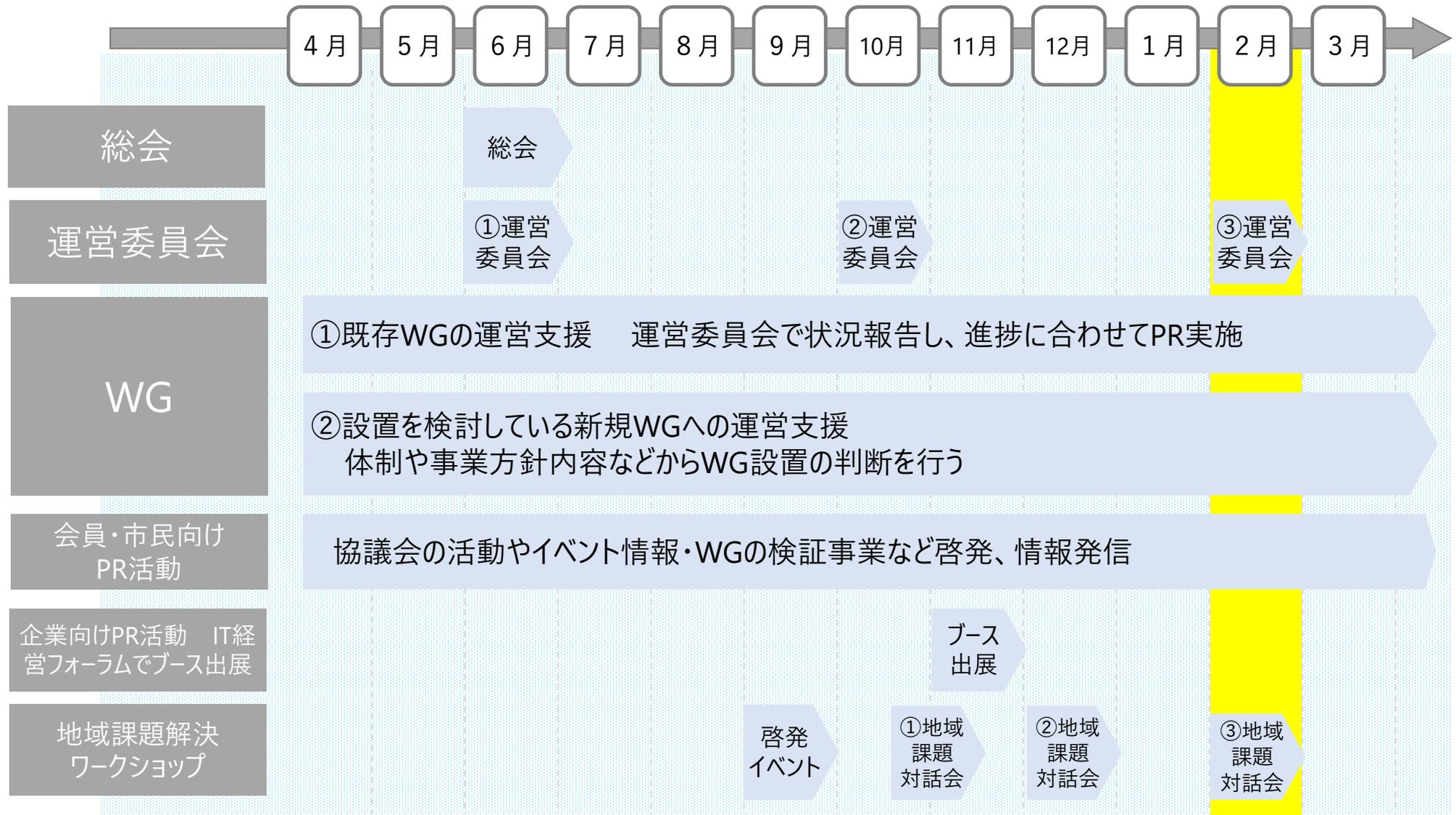
運営体制

- デジタルを活用し、分野横断的な視点で地域課題解決に取り組み、焼津市ならではの魅力や市民生活の豊かさ、利便性の向上を目指し、持続可能な都市を実現するために「焼津市スマートシティ推進協議会」を設立しました。
- スマートシティ発展期への移行を目指し、地域課題解決のための協議の場づくりに挑戦。ワーキンググループを設置し、関係者が協力して取り組みを進めています。



報告事項 2 事業進捗について

運営体制 令和7年度協議会スケジュール



報告事項 2 事業進捗について

総会及び運営委員会

第2回運営委員会

| | |
|------|---|
| 開催日 | 令和7年10月20日（月） |
| 場所 | 焼津市役所4階 応接室 |
| 実施内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規会員の紹介 ・ 事業進捗報告 ・ モニター制度報告 3. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和8年度事業推進に向けて 4. 意見交換 5. 閉会 |
| 決定事項 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 令和8年度事業推進に向けて |
| 参加者 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 運営委員 13名 ➤ WG関係者 3名 ➤ 運営委員関係者 1名 |



報告事項 2 事業進捗について

地域課題解決をテーマにしたイベントを計画



地域課題解決をテーマにしたイベントを実施

第1回地域課題解決ワークショップ

| | |
|------|--|
| 開催日 | 令和7年10月22日（水） |
| 場所 | 焼津PORTERS 2階 |
| 実施内容 | <p>■目的 地域の現状を知り、「何が課題なのか」を多面的に捉える。</p> <p>■実施内容 参加者は5グループに分かれ、「皆が考えている地域課題を語り合おう！」をテーマに議論しました。目線合わせと問題定義を行い、何が課題で何を解決すべきかを絞り込みました。背景情報を共有しながら課題のブレインストーミングを実施し、解決のための問いを作成しました。</p> <p>■今後の動き 各自が発見した問いについて調査・検討を進め、第2回ワークショップでの議論に備えます。</p> |
| 参加者 | 34名（内、焼津中央高校生8名） |



地域課題から始まる、スマートなまちづくり
へみんなのアイデアで未来の焼津をデザインしよう。

スマートシティ(AI)×O
地域課題解決ワークショップ

10/22 17:00 ~ 19:00
地域課題を語り合おう

12/19 18:00 ~ 19:00
解決策を探してみよう

2/4 17:00 ~ 19:00
実践に向けて対面を越える

| 期 | 日時 | 場所 | 参加費 | 定員 | 申込 |
|-----|---------------------|--------------|-----|-----|------------------|
| 第1期 | 10/22 17:00 ~ 19:00 | 焼津PORTERS 2階 | 無料 | 30名 | 10/15(金) 18:00まで |
| 第2期 | 12/19 18:00 ~ 19:00 | 焼津PORTERS 2階 | 無料 | 30名 | 12/12(金) 18:00まで |
| 第3期 | 2/4 17:00 ~ 19:00 | 焼津PORTERS 2階 | 無料 | 30名 | 1/27(金) 18:00まで |

お問い合わせ：055-941-1111

申込先：焼津PORTERS 2階

QRコード

報告事項 2 事業進捗について

地域課題解決をテーマにしたイベントを実施

第2回地域課題解決ワークショップ

開催日

令和7年12月19日（金）

場所

焼津PORTERS 2階

実施内容

■目的

第1回で抽出した課題や問いをもとに、「どのような取組で課題を解決できるか」を具体化し、実現可能性を検討する。

■実施内容

参加者はグループごとに課題解決に向けた取組案を検討しました。ロジックモデルを使い、取組の要素を整理。「やりたいこと」を具体的なプランに落とし込み、最終ゴールも議論し、実現性を高めるための改善点を共有しました。

■今後の動き

第3回ワークショップに向けて、実施体制やスケジュール、検証フィールドを具体化し、発表資料を作成します。

参加者

25名（内、焼津中央高校生10名）



報告事項 2 事業進捗について

地域課題解決をテーマにしたイベントを実施

第3回地域課題解決ワークショップ

開催日

令和8年2月4日（水）

場所

焼津PORTERS 2階

実施内容

■目的

検討してきた地域課題と取組案について、最終的な企画案としてまとめ、発表する。

■実施内容

参加者はグループごとに、課題の背景、目的、取組内容、実施体制、スケジュール、実証フィールド、提供価値を発表しました。講評では、各グループの取組に対してフィードバックが行われました。

■今後の動き

全グループが活動継続の意向を示しました。令和8年度には、ワーキンググループへの参画も視野に入れながら、活動を重ね、地域課題解決に向けた取組を深めていきます。

参加者

26名（内、焼津中央高校生8名）

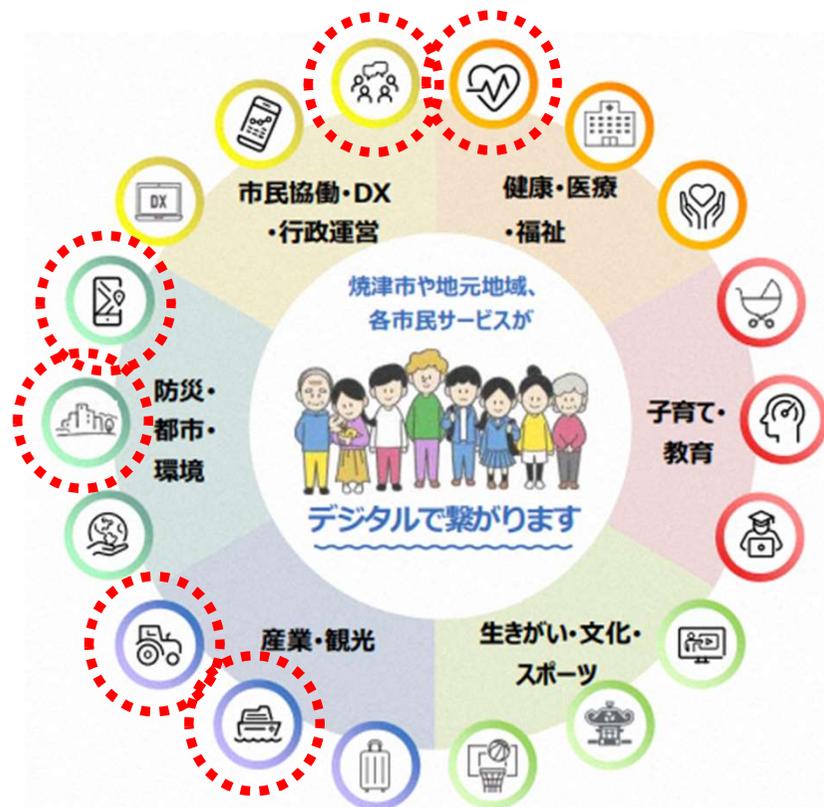


第3回地域課題解決ワークショップ 各グループの発表概要

| テーマ ：代表者 | 概要 |
|-------------|---|
| 1. 空き家 | <p>【空き家メモリー】</p> <p>①背景：進まない「空き家問題」の一つである流通しづらい点に着目した新たなマッチングの仕組みづくり ②提案：「思い出を繋いで新たな担い手を探したい所有者×空き家活用を探す担い手」のマッチングシステム ③計画：R8実証(空き家ツアー・相談会)⇒R9システム構築</p> |
| 2. 観光・周遊 | <p>【焼津市ワクワク周遊MAP yaimoでめぐる焼津旅】</p> <p>①背景：観光資源への有機的なアプローチ不足「点から線へ、そして面へ」 ②提案：「Lymo」の導入と施設間連携による「複数のモビリティを選択できることによる周遊の促進」 ③計画：R8実証(焼津PORTERS)⇒検証を踏まえ、各施設との連携を模索</p> |
| 3. 製造業DX | <p>【デジタルツインを活用した印刷工場環境可視化・品質安定化プロジェクト】</p> <p>①背景：高品質要求の高まりの一方、人手不足により現場確認作業の管理コスト増加・対応困難 ②提案：センサーから温度データをリアルタイム取得し、デジタルツインで工場内の環境変化を可視化 ③計画：R8の1年間かけ、実証に向けた必要設備・施設をリストアップ、実証ハードルを精査</p> |
| 4. 環境(循環) | <p>【焼津サーキュラーcommons】</p> <p>①背景：海洋ゴミの約8割が陸域由来の一方、回収後の「再生」出口がなく活動がボランティアに依存 ②提案：環境活動を経済的メリット(デジタル地域ポイント)や多文化交流の機会へとつなげるフェスの企画 ③計画：R8に、焼津市・焼津中央高校の既存の取組を行っている団体との実証を検討</p> |
| 5. 自由枠 | <p>【焼津ミラリスケッチ】</p> <p>①背景：“水産業”以外のイメージ(先端技術など)が認識されづらい点や、情報伝達手段の限界 ②提案：地域の未来予想図を、生成AIを用いて表現(+高校生が取り組むことで、将来世代の人材育成) ③計画：R8.2に試作品製作⇒R8の1年間かけ、講座実施し、映像製作し、公共機関等で放送</p> |

報告事項 2 事業進捗について

ワーキンググループ（WG）活動



参照：スマートシティYAIZU推進方針

| No. | WG名 | 分野 | 設置日 |
|-----|-------------------|--------------|----------|
| 1 | 地域事業者デジタル活用支援 WG | 産業・観光 | R6.12.23 |
| 2 | 水産加工品物流DX WG | 産業・観光 | R6.12.23 |
| 3 | 交通安全マップ利用促進 WG | 防災・都市・環境 | R6.12.23 |
| 4 | 自治会DX WG | 市民協働・DX・行政運営 | R7.6.20 |
| 5 | 地域防災情報ネットワーク推進 WG | 防災・都市・環境 | R7.6.20 |
| 6 | 地域「健幸」共創 WG | 健康・医療・福祉 | R7.6.20 |

報告事項 2 事業進捗について

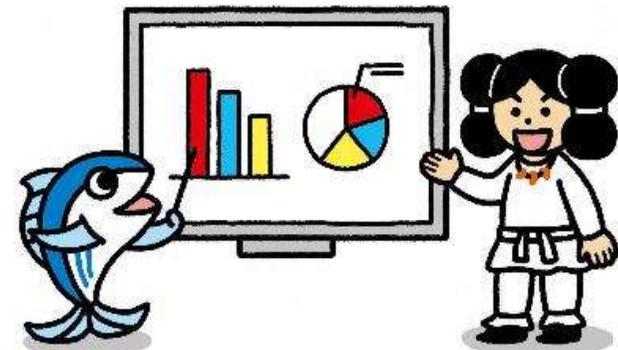
01_地域事業者デジタル活用支援WG

主体者

- 焼津商工会議所
- しずおか焼津信用金庫
- 株式会社サンロフト

認識している 地域課題

- 地元中小企業や個人事業主の多くが、経営のデジタル化や業務効率化に課題を抱えている
- 地元中小企業や個人事業主の多くが、デジタル活用に既存のリソースや知識が不足している
- DXという言葉は知っているが、具体的に何からどのように取り組めばよいのか分からない



01_地域事業者デジタル活用支援WG 具体的な取り組み内容

解決策

具体的な活動内容

IT経営フォーラムの開催

対象者 : 地元中小企業、個人事業主、静岡県内外の希望事業者
実施内容 : 先進的なDX導入事例の講演
実施日 : 令和7年11月7日(金)
開催場所 : 焼津文化センター小ホール
報告書 : [IT経営フォーラム2025開催レポート](#)



アンケート調査

名称 : 「経営者向け DX・生成AIに関するアンケート」
対象者 : 焼津市内の一般事業者、一般企業
内容 : 市内事業者のDXへの取り組みの現状等
実施方法 : 焼津商工会議所・大井川商工会・焼津市LINE
(協力 : 焼津市商工観光課)
配布日 : 令和7年7月20日
回答期限 : 令和7年9月18日 合計148件 ([集計結果](#))

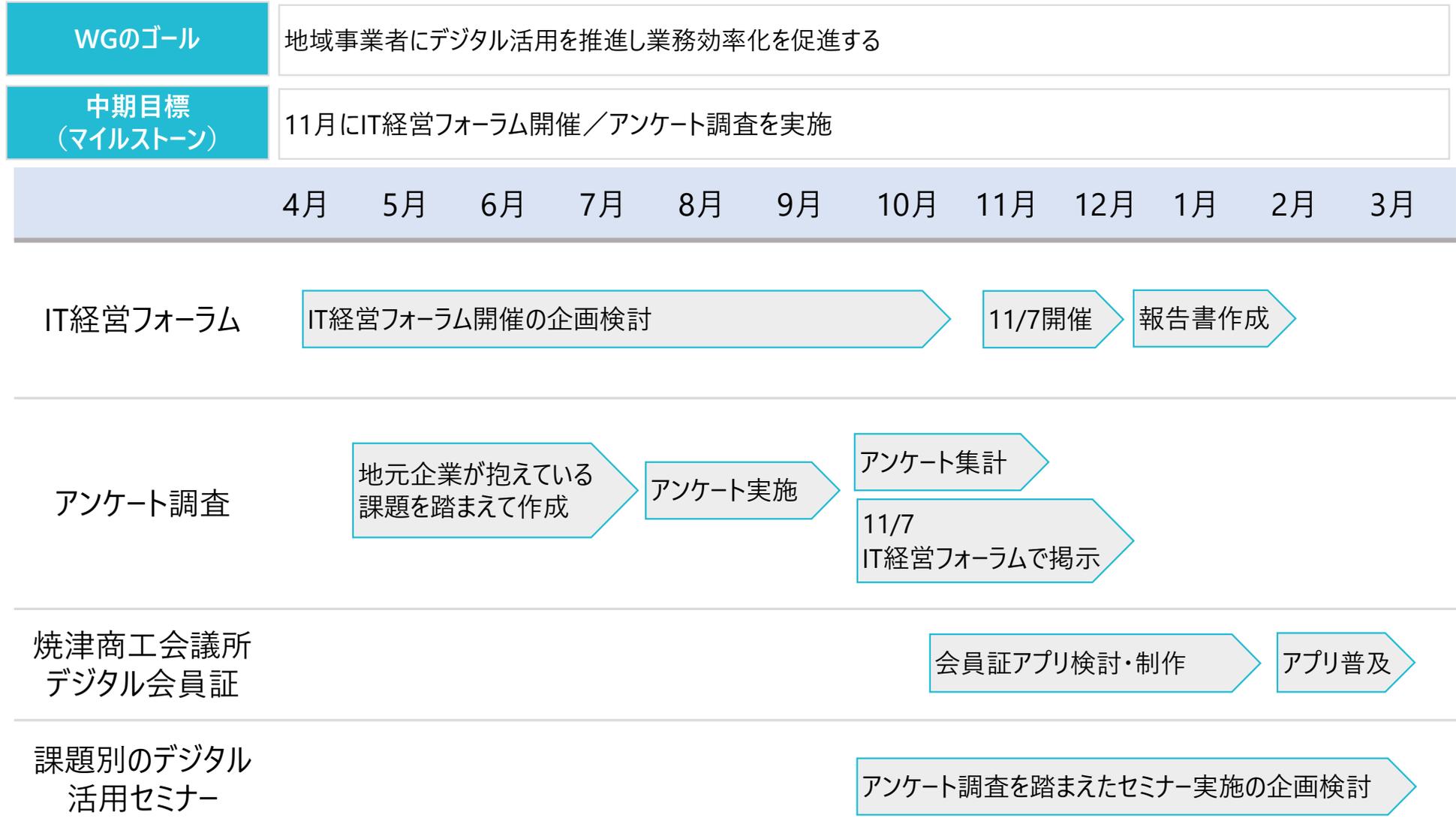


課題別デジタル活用セミナーの開催を検討

対象者 : 焼津市内の一般事業者、一般企業
実施内容 : アンケート結果を確認後、対応内容等を検討

報告事項 2 事業進捗について

01_地域事業者デジタル活用支援WG 活動スケジュール



01_地域事業者デジタル活用支援WG 具体的な取り組み内容

焼津商工会議所 会員証アプリ導入

■取り組み内容と効果

- ・ デジタル会員証を会員事業者、従業員が所持することで、クーポンの利用率が大幅に向上
- ・ 会報誌が共有され、内容がこれまで以上に広く浸透

■主な機能

スマホで会員登録：

いつでも持ち歩けるデジタル会員証

クーポン配信：

お得なクーポンを全従業員使用可能
店舗への送客へ繋げる

セミナー割引：

有料セミナー等が割引価格で受講可能

会報誌閲覧：

会報誌が閲覧共有できる

プッシュ通知：

重要な連絡が確実に届く



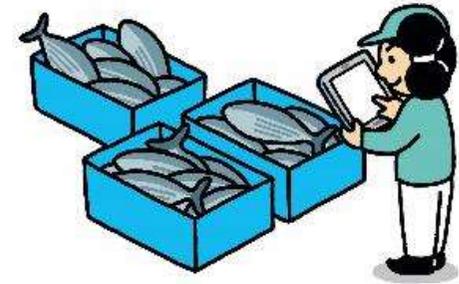
会議所アプリは、スマートシティ実現に向けて大きな力を発揮します。

報告事項 2 事業進捗について

02_水産加工品物流DXWG

主体者

- SBK協同組合（株）SIC LOGITEC、（株）カネトモ、（株）マルイリフードサプライ、（株）富士冷
- 株式会社S'PLANT



認識している 地域課題

- DX化が進んでいない理由として各企業が独自のシステムを活用しており、その統一ができていないことが大きな原因となっている。
- 運送会社と倉庫会社の連絡が進んでいない。共用できるシステムを制作し、利用した方が明らかに効率的であり、現状の非効率を改善したい。

解決策

- C-Logi（クラウド型冷蔵庫在庫管理システム）システムの開発と、倉庫会社と運送会社間でのDX化を進める。
- C-Logiとは、「倉庫管理システム」「庫内管理システム」「寄託者WEBシステム」の3つの構成からなる。

報告事項 2 事業進捗について

02_水産加工品物流DXWG 具体的な取り組み内容

解決策

具体的な活動内容

(取り組み①)
倉庫・庫内管理システムの
導入



実施内容：倉庫システムと庫内管理システムの開発は完了し、導入を開始する。
導入済み：令和7年4月 (株)SIC LOGITEC
令和7年6月 (株)富士冷
令和8年2月 (株)浜松委托倉庫（導入開始）

(取り組み②)
倉庫・庫内管理システムの
説明会開催



対象者：倉庫会社
実施内容：システムの利活用説明会を実施
実施済み：令和6年10月 焼津市地区会員向け
令和7年 3月 静岡県倉庫協会向け
令和7年 4月 焼津漁業協同組合向け

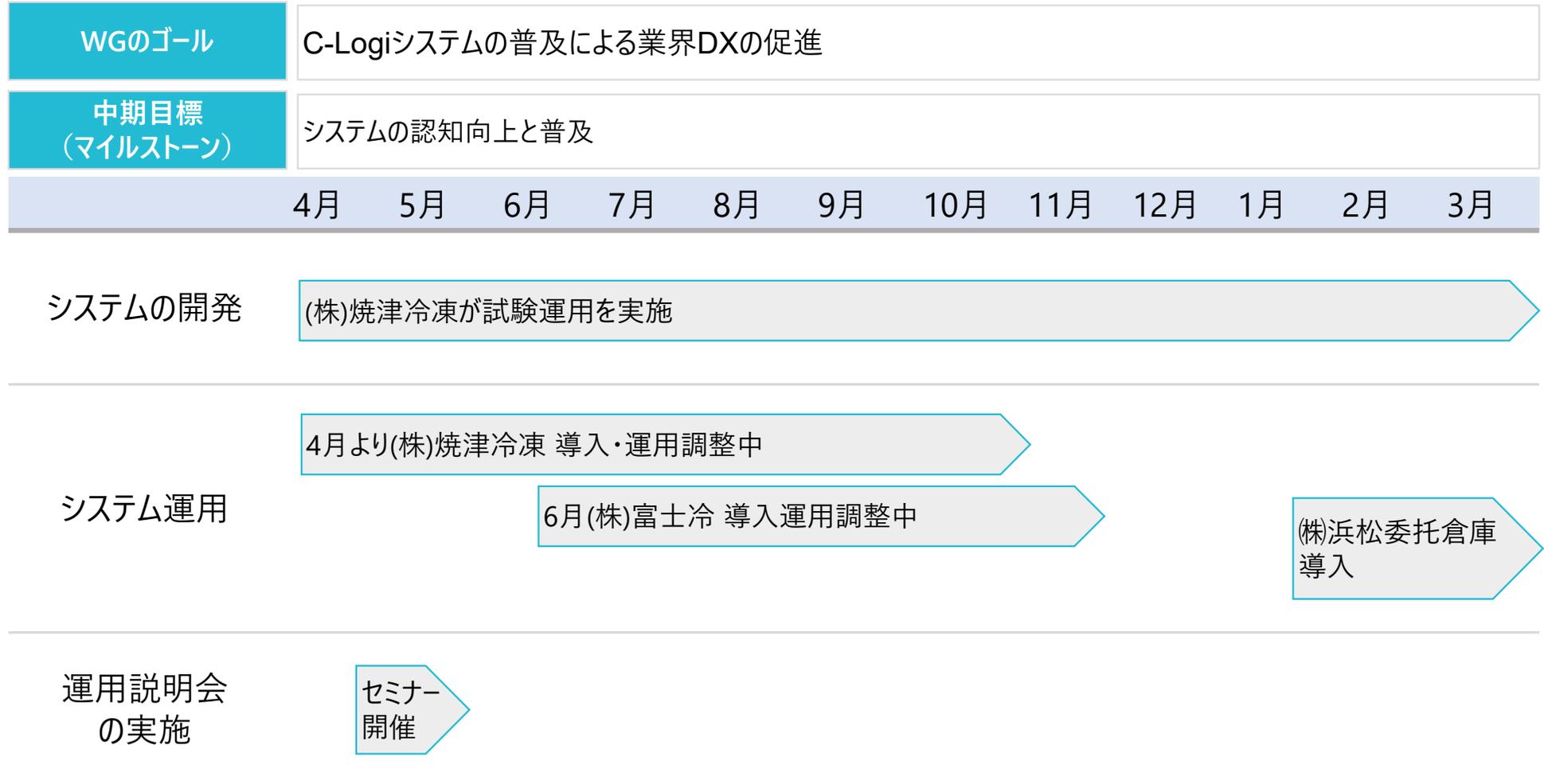
倉庫会社と運送会社のシ
ステム連携



対象者：倉庫会社・運送会社
実施内容：C-Logiのシステムを活用した運送会社との連携
目的：荷主の入出庫オーダー簡素化。
運送会社の荷待ち待機時間の短縮。
リアルタイムでのオーダー情報の共有。

報告事項 2 事業進捗について

02_水産加工品物流DXWG 活動スケジュール



報告事項 2 事業進捗について

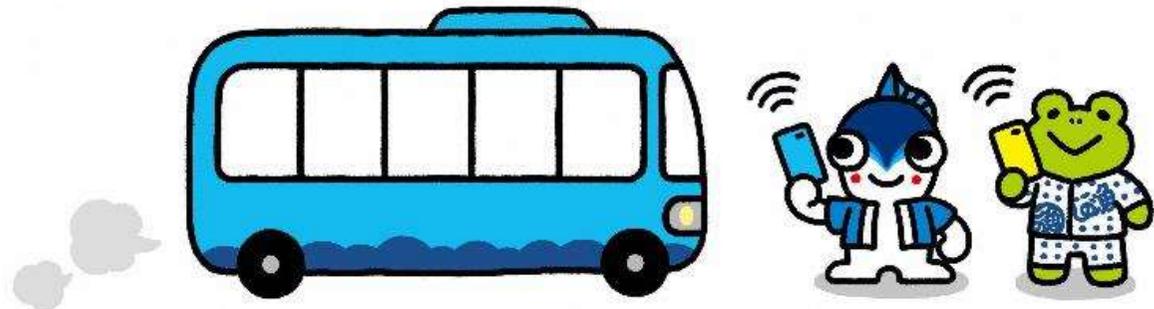
03_交通安全マップ利用促進WG

主体者

- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- 焼津市

認識している 地域課題

- 運転者の規範意識の低下による交通ルール無視や交通マナーの低下がみられる
- 焼津市内における交通事故発生状況は人身事故件数や負傷者数ともに増加率が県内ワーストワンであり、交通事故を削減し安全運転の意識を向上する必要がある



03_交通安全マップ利用促進WG 具体的な取り組み内容

解決策

具体的な活動内容

エコドライブ・安全運転コンテスト



■実施内容

参加者は1か月間、テレマタグを付けて自動車を運転した。参加者にアプリで安全運転スコアを提供し、安全運転を体感、テレマシステムによる事故軽減抑止効果を体験した。

■実施期間・参加者

7月1日～31日の間、焼津市内事業者68チーム、261名が参加。

■表彰式

10月27日開催 巻田油業（株）、焼津市社会福祉協議会、（株）サンロフトを表彰



安全運転マップデータをスマートマップに融合

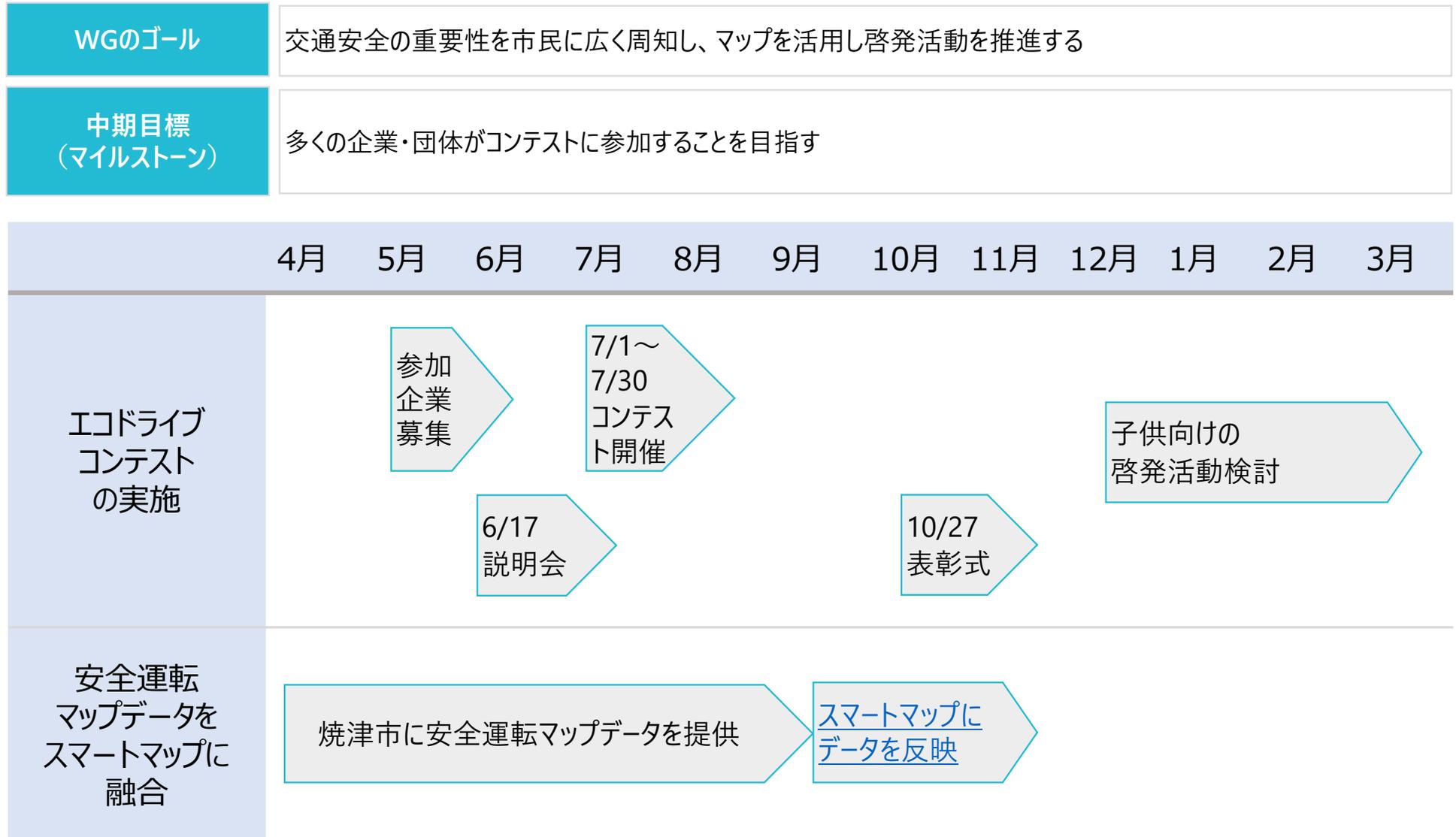


コンテスト終了後、参加者の走行データから、急ブレーキ等のヒヤリハット地点データを焼津市に提供した。

データを「交通事故分析ダッシュボード」と融合し、スマートマップに表示することで、交通事故削減を目指し、安全運転の意識向上につなげた。

報告事項 2 事業進捗について

03_交通安全マップ利用促進WG 活動スケジュール



報告事項 2 事業進捗について

03_交通安全マップ利用促進WG 具体的な取り組み内容

安全運転マップデータをスマートマップに融合



小学校低学年向けの交通安全学習（案）



①小学校での課外授業

- 低学年向けに課外授業を開催
- 授業参観など、親子参加型での開催も可能

②地域で開催するイベント

- 自治体のみなさまが開催する地域住民向けのイベントとして交通安全学習を開催

報告事項 2 事業進捗について

04_自治会DX

主体者

- 焼津市自治会連合会
- 焼津市

認識している 地域課題

- 一般的な自治会が抱える課題
- 迅速な情報発信（回覧板 → デジタル化）
 - 事務作業の負担感（役員会などの出欠管理）
 - 事務作業の引継ぎ（文書のデジタル保管、役員会資料作成テンプレート化）
 - 外国人住民への対応（多言語翻訳）



04_自治会DX 具体的な取り組み内容

解決策

具体的な活動内容

デジタル化に向けた
サービス導入検討

■ 課題ヒアリング・必要機能確認

- ① デジタル化に意欲的な自治会を選定し、ワークショップを行う。
- ② ワークショップの結果を受けて、再度意見集約を行う。

■ 自治会連合会としての方向性を検討

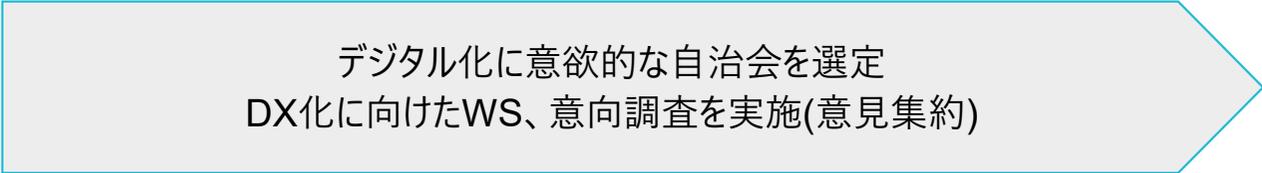
- ① 自治会連合会として「誰も取り残さない」ようにするために、どのような方向性で進めればいいのか検討を行う。
- ② 自治会DXの選抜メンバーに意向確認のため、アンケート調査を実施(12月締切)
- ③ 2月以降、方向性の検討と、ロードマップの策定を行う。

■ ロードマップの運用

- ① 策定したロードマップを、自治会連合会と協議し、合意形成を図る。
- ② 策定したロードマップをもとに、計画実施。

報告事項 2 事業進捗について

04_自治会DX 活動スケジュール

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|---|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| WGのゴール | 自治会DXサービスの円滑な導入と活用促進を通じて、自治会業務の効率化を実現し、持続可能な地域運営基盤を構築する。 | | | | | | | | | | | |
| 中期目標 (マイルストーン) | 自治会DX支援パッケージサービスに求める仕様を固め、一部の町内会・組におけるサービスの試験導入を行う。 | | | | | | | | | | | |
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 意欲的な自治会の選定、WSの実施 | <div style="text-align: center;">  <p>デジタル化に意欲的な自治会を選定 DX化に向けたWS、意向調査を実施(意見集約)</p> </div> | | | | | | | | | | | |
| DX導入の方向性の検討 | <div style="text-align: right;">  <p>方向性の検討</p> </div> | | | | | | | | | | | |
| ロードマップの策定 | <div style="text-align: right;">  <p>自治会連合会で協議</p> </div> | | | | | | | | | | | |

報告事項 2 事業進捗について

05_地域防災情報ネットワーク推進

主体者

- 焼津市
- 焼津市商工会議所
- 大井川商工会
- 焼津市社会福祉協議会

認識している 地域課題

- 災害情報のリアルタイム共有と行政の災害対応の迅速化
- 市民の防災意識向上と共助の強化
- 防災情報へのアクセス向上と適切な避難行動の促進



報告事項 2 事業進捗について

05_地域防災情報ネットワーク推進WG 具体的な取り組み内容

解決策

具体的な活動内容

共助による
地域防災体制の推進
(リスクロ、スマートマップ焼
津の活用)

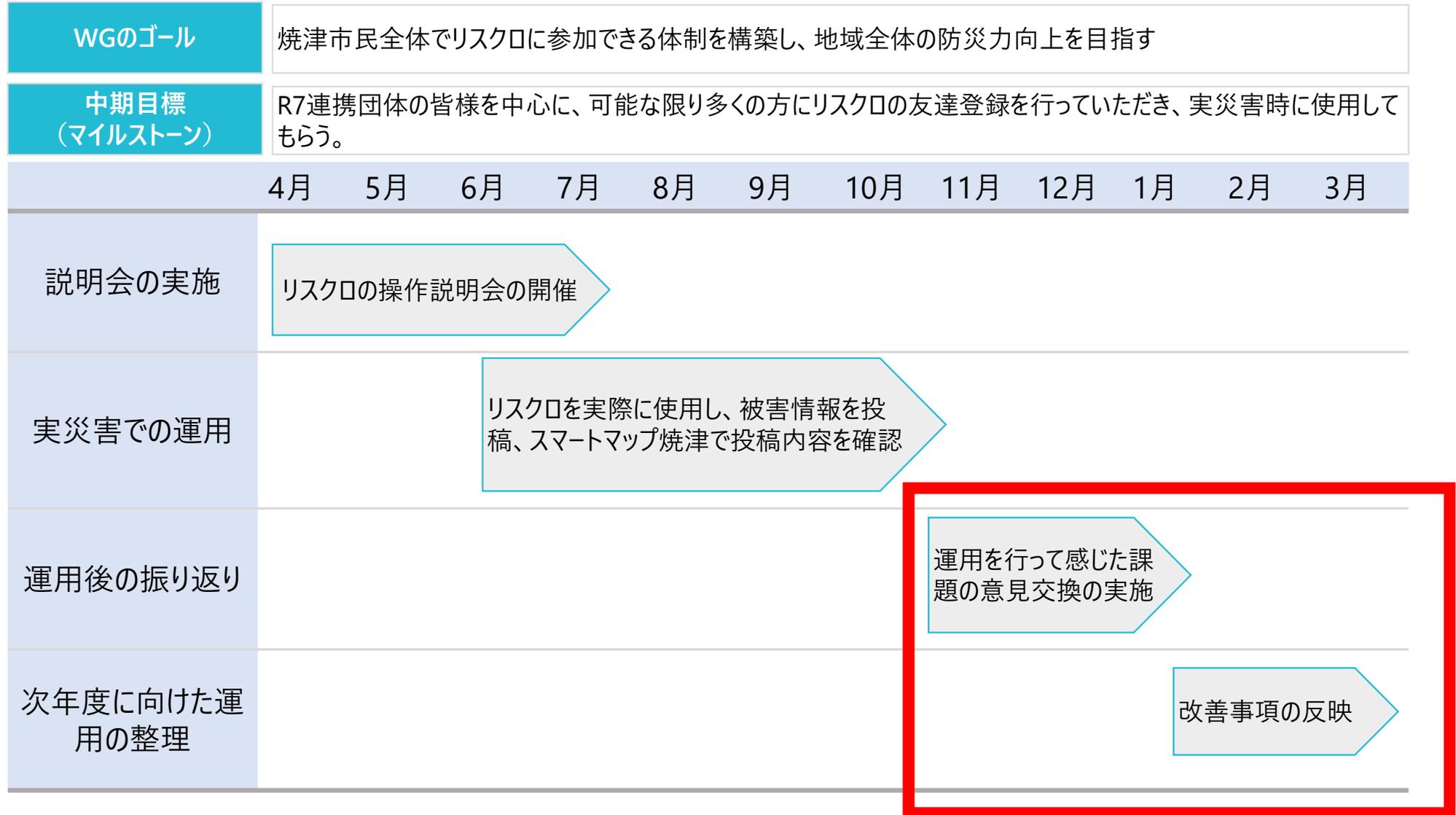


令和6年度に、デジタル地図「スマートマップ焼津」とウェザーニューズ社の投稿サービス「リスクロ」を活用し、市職員による冠水情報等の共有を開始した。今後は、市民や地域団体による情報発信体制の整備に取り組み、地域の共助による防災力の向上を目指す。

- 消防団での運用定着
 - ・ 実災害時にスムーズに使用できるように平時からの試験投稿を実施した。
 - ・ 「文章」「位置情報」「写真」のスムーズな投稿に繋がった。
- 投稿者の拡大
 - ・ 焼津市消防団、焼津商工会議所、大井川商工会に説明会を実施（6月～9月）。リスクロの登録から投稿までを実際に体験。
 - ・ 社会福祉協議会は12月に説明会を実施。
- 次年度に向けた展開準備
 - ・ 台風第15号の災害対応時にも多数の投稿（100件）があった。
 - ・ 投稿いただいた内容をもとに、振り返りを実施予定。
 - ➔令和8年1月14日(水)～1月28日(水)でアンケートを実施（後述）

報告事項 2 事業進捗について

05_地域防災情報ネットワーク推進 活動スケジュール



報告事項 2 事業進捗について

05_地域防災情報ネットワーク推進 アンケートの実施と結果

■実施事項：運用を行って感じた課題の意見交換の実施

→リスクロの機能を利用して現在の登録者に向けたアンケート調査を実施

■アンケート期間：1月14日（水）～1月28日（水）

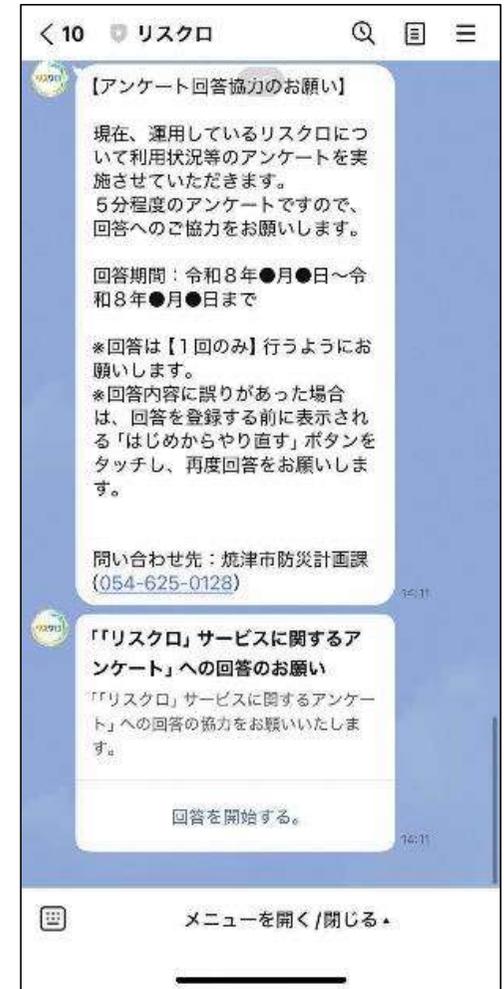
■対象者：①市職員 ②消防団 ③関係団体

※関係団体・・・焼津商工会議所・大井川商工会・社会福祉協議会の皆様

■回答数：66人（資料作成時点）

■質問項目

- ①リスクロの操作性についてどのように感じていますか？
- ②災害時に投稿内容がスマートマップ焼津で情報共有されることは効果的だと思いますか？
- ③今後、災害発生時に「災害報告」を行おうと思いますか？



【リスクロ アンケート画面イメージ】

報告事項 2 事業進捗について

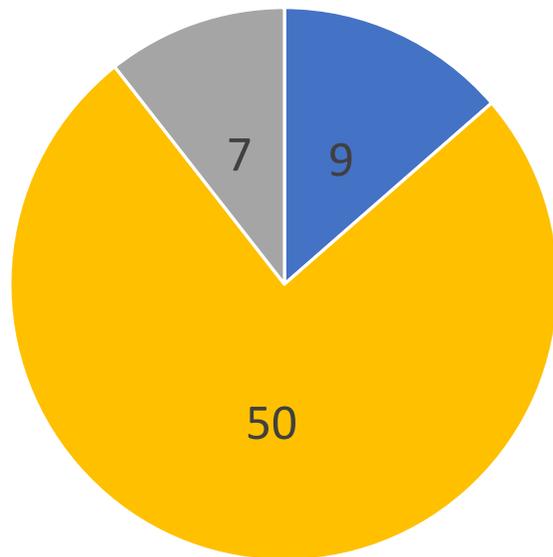
05_地域防災情報ネットワーク推進 アンケートの実施と結果

質問 1

：リスクロの操作性についてどのように感じていますか？

質問 2

：どのような点が使いづらいと感じますか？



■ 使いやすい

■ 普通

■ 使いにくい

【回答①】

- 写真添付の仕方がややわかりづらい
- ミスタッチが反映されてしまう為、急を要する時LINEしづらい。

【回答②】

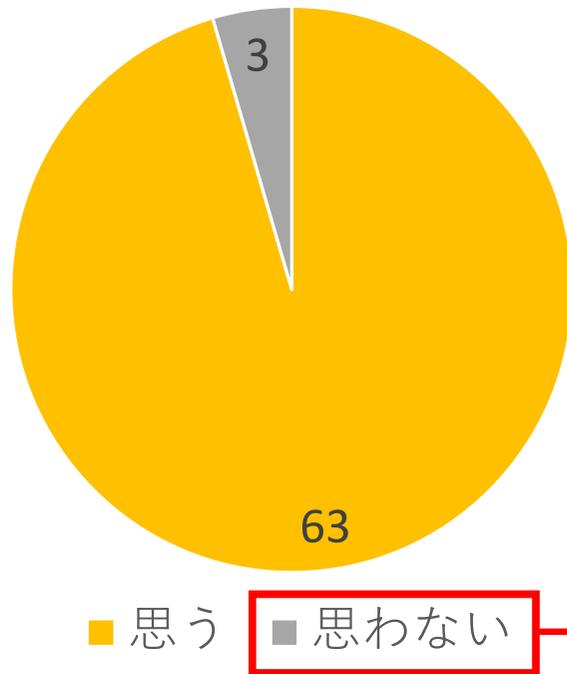
- 使う機会があまり無い為にいざ使う時には、使い方が忘れます
- まだ使用したことがない。活用もまだしていない。
- リスクロだー ラインだー
あともう一つなんだったか？いろいろありすぎ

報告事項 2 事業進捗について

05_地域防災情報ネットワーク推進 アンケートの実施と結果

質問 1

：災害時に投稿内容がスマートマップ焼津で
情報共有されることは効果的だと思いますか？



質問 2

：どのような点が使いづらいと感じますか？

【回答例】

- 同じ場所の投稿がいくつも重なると点が重なってしまい見辛くなると思う。
投稿できる人が多すぎても良くないかもしれない。

【回答例】

- スマートマップ焼津自体がまだまだ浸透していないとおもいます。
どうせならスマートマップ焼津をアプリ運用
1ボタンでマップが見れる様にした方が扱いやすい
気がします。
- 市民が閲覧してない為

報告事項 2 事業進捗について

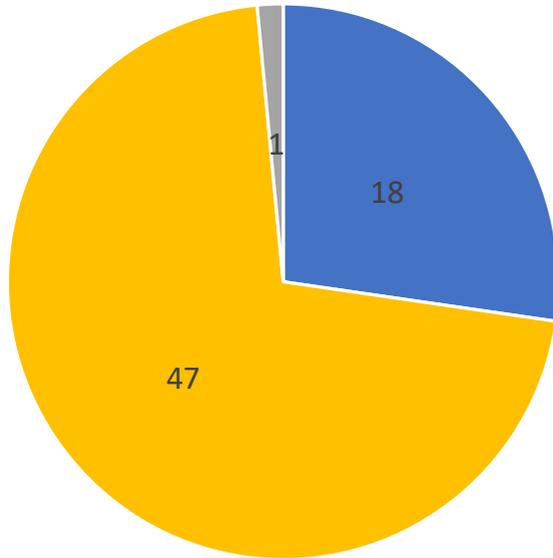
05_地域防災情報ネットワーク推進 アンケートの実施と結果

質問 1

：今後、災害発生時に「災害報告」を行おうと思いますか？

質問 2

：思わない理由を教えてください



■ 積極的に行いたい ■ 可能な限り行いたい ■ 思わない

【回答】

●めんどくさい



05_地域防災情報ネットワーク推進 アンケート実施後の課題

■アンケートを実施後により見えてきた今後の課題

【課題 1】使いやすさの向上

【課題 2】スマートマップ焼津の認知度の更なる向上

【課題 3】投稿の協力依頼団体の検討



いただいたご意見をもとに、各課題への対応を検討
市民の皆様へ必要な防災情報を提供する

報告事項 2 事業進捗について

06_地域「健幸」共創WG

主体者

- 焼津市
- 株式会社Wellmira
- 一般社団法人UDCKタウンマネジメント
- 焼津市商工会議所
- 大井川商工会



認識している 地域課題

- 健康づくりの継続と行動変容の促進
 - 焼津市は同規模自治体と比較して、医療費に占める生活習慣病の割合が高く、加齢による重症化も顕著である。
 - 生活習慣病の発症予防と重症化防止を図り、健康寿命を延伸するため、日常的な健康状態の把握と行動変容を促す仕組みづくりが必要である。
- 持続可能で、活力ある地域社会の実現
 - 自身の体調不良や親の介護など、健康に起因する就業や社会参加への影響が懸念されている。
 - 働く世代を含めた幅広い世代の健康維持を支えるため、官民が連携し、地域の活力と持続可能性を高めていくことが必要である。

報告事項 2 事業進捗について

06_地域「健幸」共創WG 具体的な取り組み内容

解決策

具体的な活動内容

健康管理アプリ
「カロママ プラス」導入



- これまで紙媒体で実施していた、健康行動に応じてポイントを付与するなど市民の健康づくりにおける行動変容を応援する取組「やいづ健康マイレージ」について、ポイントの獲得から利用までを一括して健康アプリ「カロママ プラス」内で展開し、市民・事業者向けの利用を開始した。

やいづ健幸
応援団の立上げ、
および普及



- 地域・市民の健幸向上に向け、事業者と行政が一体となって健幸づくりを推進する仕組みとして「やいづ健幸応援団」制度を開始し、下記4コースに登録いただいた事業者の協力のもと、地域及び従業員の継続的な健幸づくりを促進した。
 - 【1】健康経営実践コース（参加事業者：20社）
 - 従業員の健康づくりの一環として「カロママ プラス」への登録及び利用を促進。併せて、従業員が企業ごとに1チームとなって参加する企業対抗のウォーキングイベントを、11月及び2月に実施。
 - 【2】やいづ健康マイレージ協賛コース（参加事業者：20社）
 - 市民が健康行動により獲得した「やいづ健康マイレージポイント」で交換・応募できるインセンティブを募集。
 - 【3】健康づくり・見える化コース（参加事業者：9社）
 - 市内19か所にベジチェック®を設置するなど、市民の健康づくりを後押しする場やサービスを提供。
 - 【4】普及・周知支援コース（参加事業者：15社）
 - 市民及び市内事業者に対し、健康セミナー・イベントの開催や、「健康経営実践コース」の普及・支援活動を実施。

06_地域「健幸」共創WG 具体的な取り組み内容

【1】健康経営実践コース



- 市内事業者が健康アプリ「カロママプラス」を活用して従業員の健康づくりに取り組むモデル事例として、事業者対抗のアプリ内イベント「ウォーキングキャンペーン」を開催
- 1日の平均歩数のランキングをアプリ内で表示するほか、8,000歩以上歩いた人の割合上位の事業者を3月に表彰

- やいづ健康チャレンジ「ウォーキングキャンペーン」
- 第1回 2025年11月24日～12月14日
参加事業者：13社（計223名）
 - 第2回 2026年2月2日～3月1日
参加事業者：16社（計264名）

【2】やいづ健康マイレージ協賛コース



- 1月13日から「やいづ健康マイレージdeごほうびキャンペーン」を開始
- 抽選で当たる協賛品は現在18品（開始時は16品）
- 応募対象は、市民と市内事業者の従業員（4月に抽選予定）



健康アプリ「カロママプラス」登録者数の推移

マイレージ協賛コースの活動が、アプリ登録者数を大きく押し上げるのに貢献

報告事項 2 事業進捗について

06_地域「健幸」共創WG 具体的な取り組み内容

【3】健康づくり・見える化コース



- ・ 焼津市内スーパー、ドラッグストア等19か所にベジチェック®を設置
- ・ 月7,000回以上の利用があり、全国のベジチェック®利用回数の中でもトップクラスの実績を有する店舗も見られた
- ・ 「カロママ プラス」と連携しており、測定結果をアプリで読み込むことで「やいづ健康マイレージポイント」を獲得できる

▼ベジチェック 月次の平均測定回数

| | 店舗数 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
|------------|-----|------|------|------|------|------|------|
| スーパー・量販店 | 10 | 1008 | 2064 | 1796 | 1567 | 1418 | 1287 |
| 薬局・ドラッグストア | 5 | 246 | 486 | 445 | 415 | 369 | 396 |
| 農協・直売所 | 2 | 335 | 603 | 497 | 520 | 467 | 382 |
| 行政・自治体 | 2 | 232 | 155 | 201 | 122 | 151 | 157 |

【4】普及・周知支援コース

- ・ 「健康経営実践コース」の普及・周知支援活動
 - 焼津市内事業所への営業・周知活動の実施
 - 会報誌へのチラシ同封 等
- ・ 2026年1月21日 健康経営セミナー実施（静岡銀行様）
 - 市内外の事業者23社が参加
 - 健康経営の必要性について周知
- ・ 2026年1月31日、2月1日 健康イベント実施（イオン焼津店様）
 - ベジチェック®及びAGEs（糖化度）の測定体験を実施
 - 健康アプリ「カロママ プラス」の普及・周知を促進
 - 約300名が参加し「カロママ プラス」登録者数は119名増加

▼健康経営セミナー

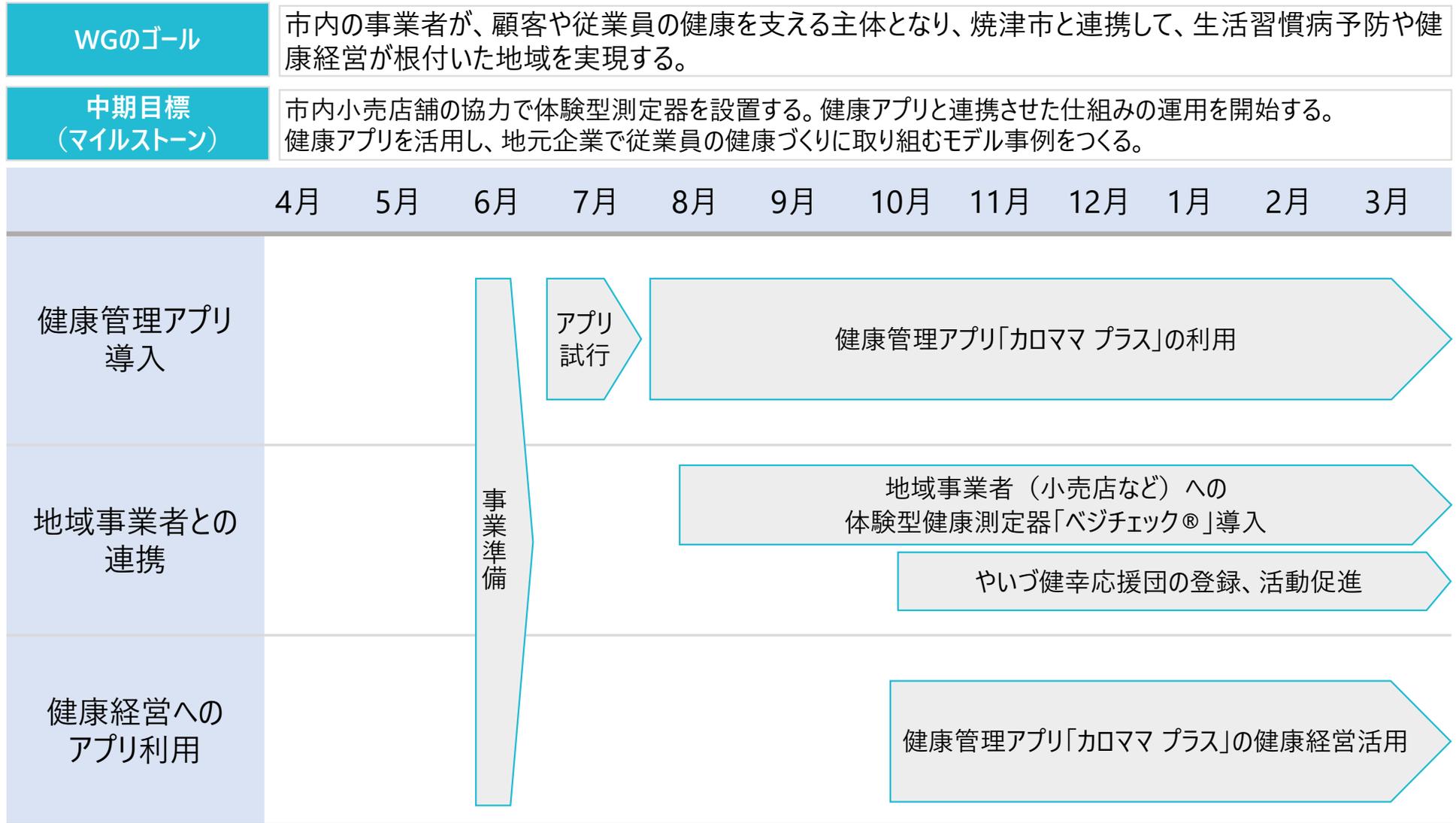


▼健康イベント



報告事項 2 事業進捗について

06_地域「健幸」共創WG 活動スケジュール



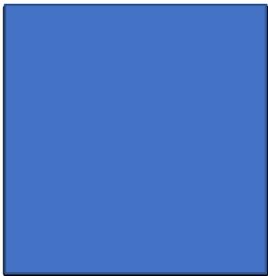
**報告事項 3 第 2 期焼津市DX推進計画（案）
について（別紙参照）**

報告事項 4 モニター制度について

報告事項 4 モニター制度について

モニター制度の実施について

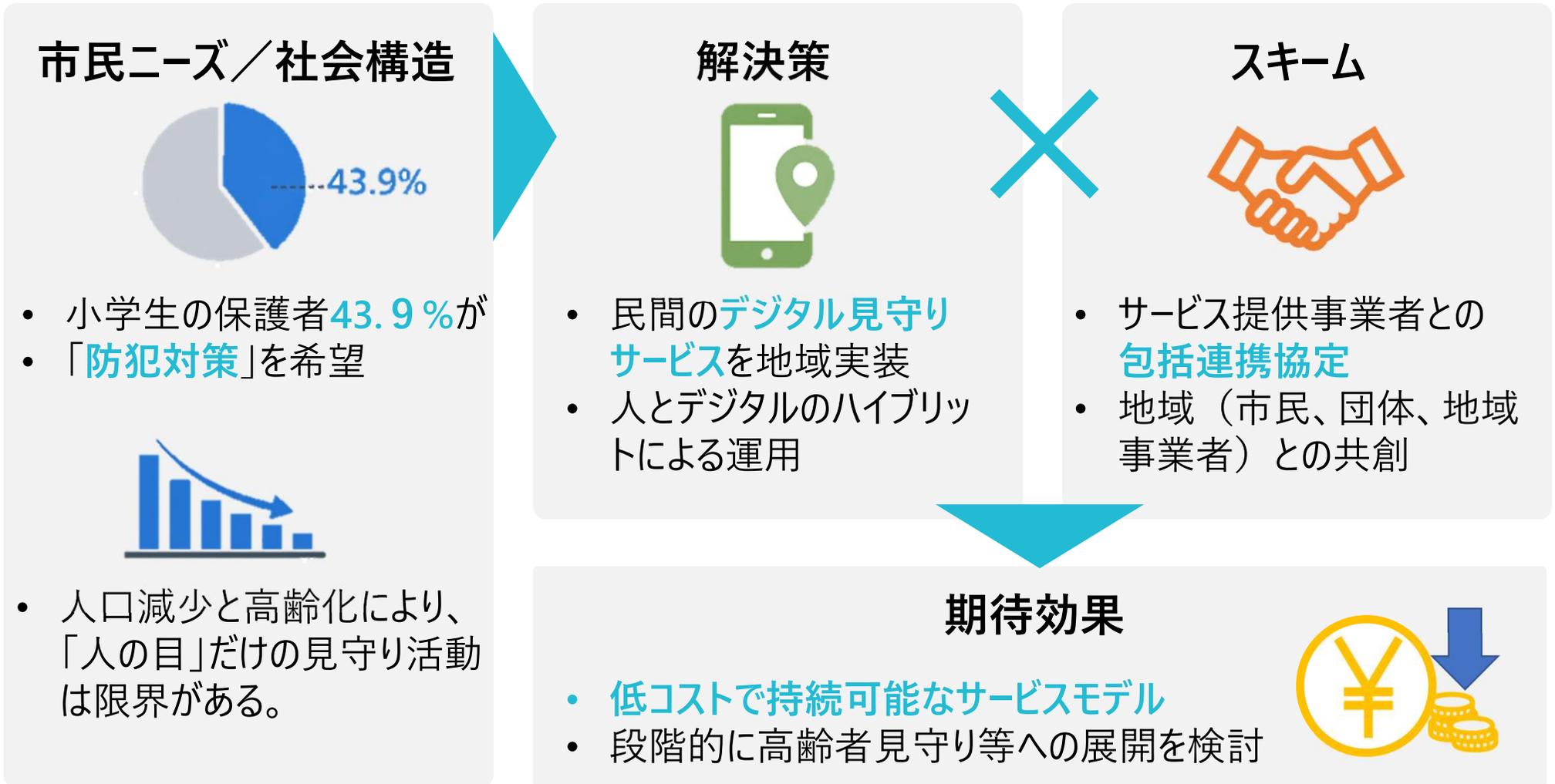
スマートシティ推進に関して、市民の皆様意見を反映させながら、より良いサービスを作っていくことが重要。そのため、協議会（ワーキンググループ）の活動を支える仕組みとして、登録制の市民モニター制度を検討。

| | | |
|---------|---|--|
| 趣旨 | 市民の皆様等に、協議会のワーキンググループ等で検討・実装された新たなサービスを試していただき、使いやすさなどについて意見を収集。サービスの改善に活用していく。 | |
| 対象 | 一般市民 （協議会関連事業に参画いただいた方等、関心の高い方を想定） | |
| 登録・実施方法 | 登録・実施ともアンケートフォームを想定 |  |
| 広報 | 市広報、HP、LINE、イベントなどを活用予定 | |
| その他 | 意見収集の対象：協議会に関係する、地域社会のデジタル化に資する取組を想定。 試行（今年度）：課題解決ワークショップ参加者等に登録依頼。年度内にアンケートを実施予定。 | |

報告事項 5 デジタルを活用した地域見守りの 取り組みについて

デジタルを活用した「地域見守り」の検討開始（R8：子どもの見守り）

民間のデジタルサービスを活用した「地域における子どもの見守り」について、令和8年度からのスマートシティYAIZUの取組として、WG設置を想定して検討を進めています。

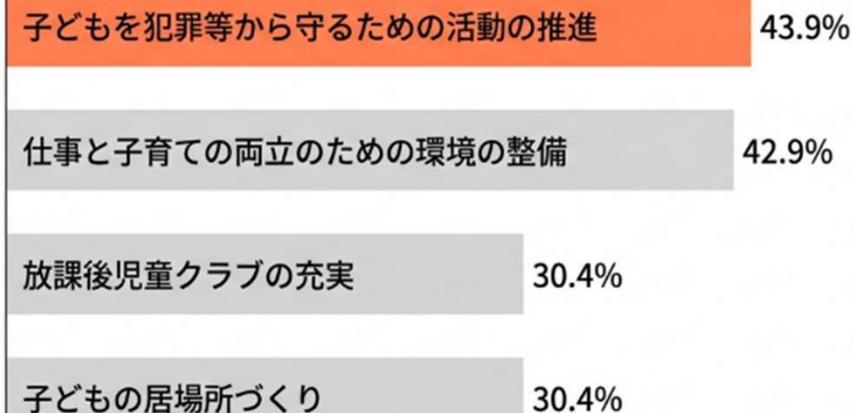


【背景】子育て世代ニーズ・市民意識からは「地域見守り」の必要性が伺える

小学生保護者の期待は

「子どもを犯罪等から守るための活動」

子育て支援の充実を図ってほしいと期待する施策
(回答上位)



小学生保護者向け調査回答者 (n=529)

出典：焼津市の子ども・子育て支援に関する調査（令和6年2月）
※本グラフは、小学生の子どもを持つ保護者を対象に、子育て支援の充実に向けて期待する施策を尋ねた結果のうち、回答数の多かった上位項目を示したもの。

市民意識として

「事故・犯罪」に関する安心感が相対的に低い

焼津市の地域幸福度（全国偏差値）
※アンケートによる主観データを表示



事故・犯罪に関する安心感（主観指標）
偏差値：33.8

焼津市個別調査回答者
(n=3,048)

出典：2025年度版 Well-Being 個別調査（デジタル庁）
※焼津市が令和7年12月に実施した地域幸福度調査（個別調査）の結果を、デジタル庁が提供するWEBサイト上で可視化・分析し、全国比較（偏差値化）したものを。

- 参考：該当する調査設問と焼津市の全国偏差値
- 「私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい」：全国偏差値35.1
 - 「私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」：全国偏差値32.5

【現状】子どもの見守り活動は貴重な地域資源も 人手には限界がある

現在の強み

人の目による地域ぐるみの見守り活動



- 子ども見守り隊、教職員、警察、地域安全推進委員会の方々の下校時の巡回等が抑止力となっている。
- 多くの「人の目」が行き届くことが、子どもたちを巻き込む犯罪や事故の防止につながる。

※引用：令和7年度 第1回 焼津市青少年問題協議会 議事録

これからの課題

活動を補完する持続可能な仕組みづくり

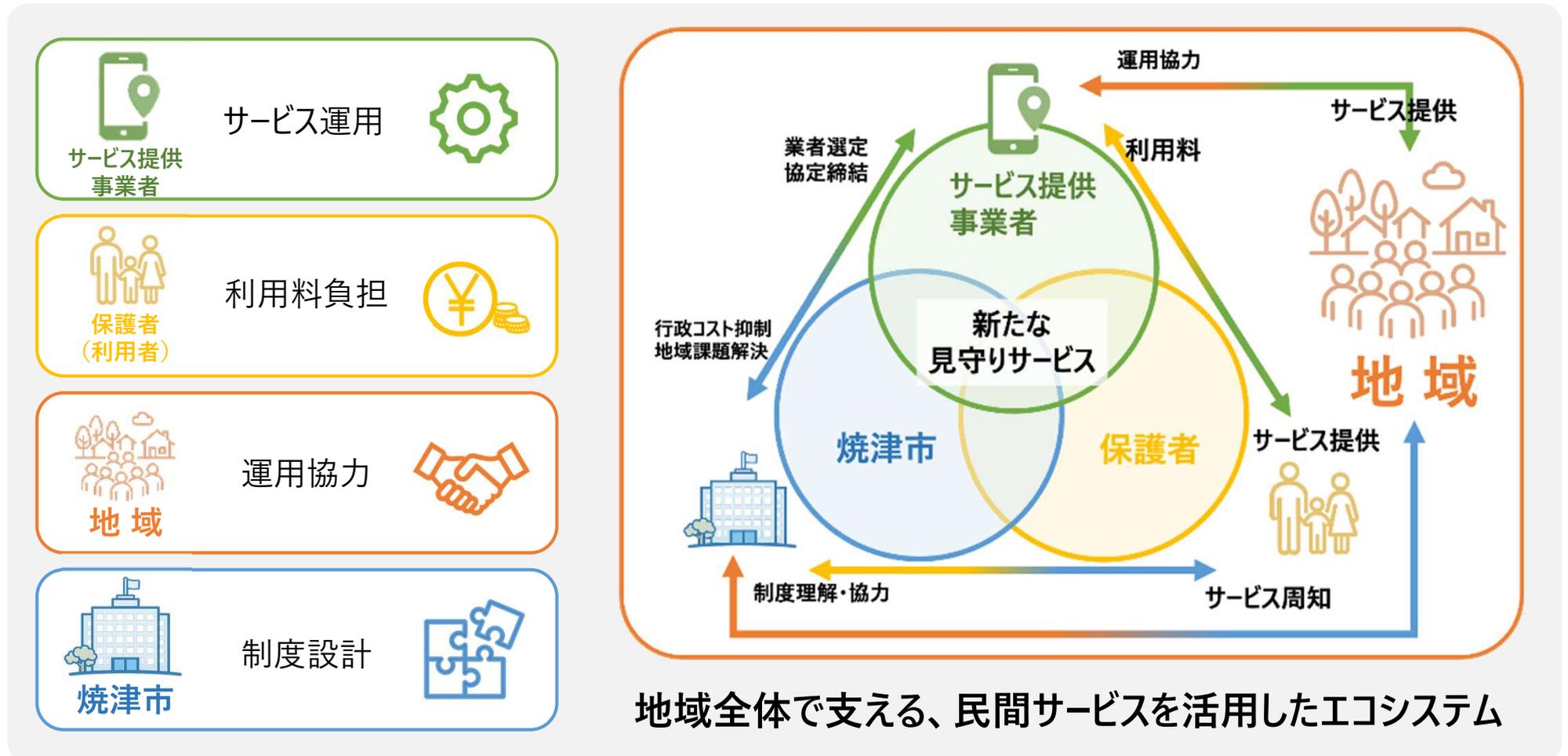


- 人口減少や高齢化による担い手不足を見据えると、「人の目」だけに頼った見守り活動は限界がある。
- 既存の活動を補完し、地域全体の安心感の醸成につながる「持続可能な新たな仕組み」が必要では？

構造的な限界

【解決策とスキーム】地域の力とデジタルを組み合わせた「官民連携モデル」

- 民間のデジタルサービスを活用した持続可能で効果的な見守りの仕組みを検討
- サービス提供事業者、利用者、焼津市、そして地域が、それぞれの役割を担うことで、地域全体で支える新しいサービスの創出を目指す。

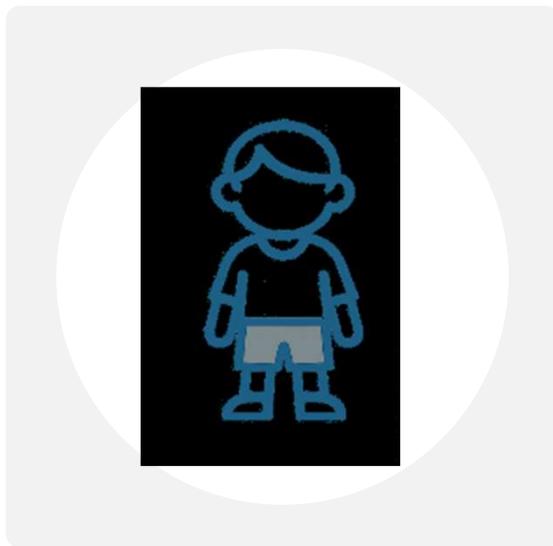


【発展】子どもの見守りを起点に、より安心して暮らせるまちへ

スマートシティYAIZUの取り組みとして

分野横断的な視点でのサービス実装を段階的に検討

子どもの見守り



仕組み・ノウハウの
確立

高齢者分野等への展開



- 子どもの見守りで確立した仕組みとノウハウを活かし、高齢者の見守りなど、他分野への展開について、段階的な検討を進める。

報告事項 5 地域見守りサービスの検討について

包括連携協定締結候補事業者を募集中

選定にあたっては、焼津市の取組の理解や、情報セキュリティ、個人情報・プライバシー保護の取組が十分であることを前提に、3つの視点で評価します。

①持続可能性



- 市の財政負担抑制
- 受益者負担モデルの考え方
- 事業継続に対する考え方
- 官民共創（地域との協働）、役割分担

②実現可能性



- 利用方法のわかりやすさ（導線）
- 運営体制・サポート体制
- 市全域を前提とした実装の考え方
- 導入・運用実績

③将来展開・発展性



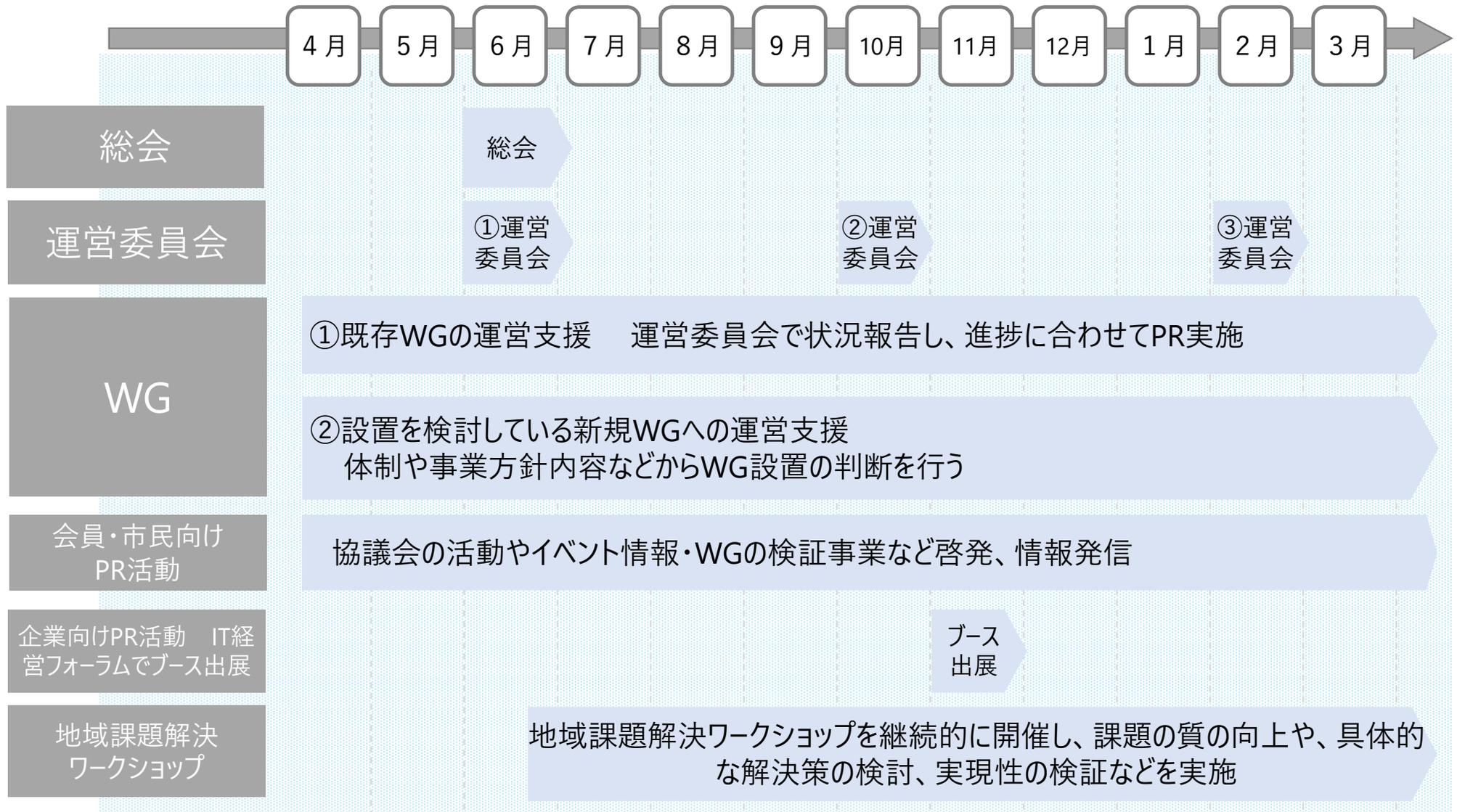
- 子どもの見守りを起点として、他分野への展開や連携により取組が発展する可能性が示されているか

令和8年2月中旬募集 ▶ 3月中に候補事業者選定 ▶ 4月以降に協定締結
→ 次回運営委員会でWG設置について協議いただく想定。

協議事項 R8 事業推進に向けて

協議事項 R8 事業推進に向けて

令和8年度協議会スケジュール（素案）



推進協議会としての取り組み検討の方向性（案）

事務局では、R8以降の持続的な運営に向け、以下のような取り組みを検討しています。

*あくまで案ベースで、事業検討の方向性確認として記載しており、次年度実施を確約するものではありません。

進捗管理 ・ 活動支援

■各WGへのヒアリングと進捗状況の把握 【継続：WG進捗管理】

- 定期的に各WGの活動内容や進捗を確認し、取組状況を的確に把握。
- 活動の重複や停滞を防ぎ、必要なサポートを迅速に行える体制を整える。

■課題解決に向けた助言や関係者との橋渡し 【継続：WG活動支援】

- 各WGが抱える課題に対して、事務局が適切にアドバイスを行い、関係部署や外部関係者との調整・連携を支援する。
- 必要に応じて専門的な知見を提供し、各WGの取組が円滑に進むようサポートする。

■スマートシティ推進に係る情報発信・情報共有 【継続：情報発信】

- 各WGの取組内容や成果、成功事例の情報共有を強化。
- メルマガの発信や、WEBサイト等を活用し、会員間の協働を促進する。
- モニター制度を本運用し、市民意見を定期的に収集し、実証やサービス改善に活用します。

推進協議会としての取り組み検討の方向性（案）

活動支援

■ワーキンググループ組成前の「事業の種」づくり 【継続：地域課題解決WS】

- 会員だけでなく、関心のある市民や団体も交え、地域課題を共有・整理するワークショップを開催。
- 対話を通じて課題を明確にし、それぞれの立場でできることを言語化することで、新たなWG立ち上げにつながる「事業の種」を育てる。
- R8年度は、4回程度のワークショップ開催に加え、SNSなどによる参加者間の意見交換を継続し、議論の深化と協働の輪を広げる。

■地域事業者向け、デジタル相談窓口の設置 【新規】

- ワーキンググループの活動を含む、地域事業者の課題を整理し、活用可能な支援メニューやデジタルツール等を提示する「地域事業者のデジタル相談窓口」を設置する。
- 単なるパッケージサービスの紹介にとどまらず、これまで市が実施してきたノーコードツールの伴走支援の実績等も踏まえながら、事業者の状況に応じた最適な改善策を一緒に検討する。

<背景>

- 地域事業者DX推進ワーキンググループでの議論や、これまでの事業者からの相談内容などから、AI活用、営業・人材採用・育成などの戦略的分野への関心が高い一方で、実際には「デジタルに詳しい社員がおらず、どこから何を始めればよいか分からない」といった声が多く聞かれる。
- 本取組は、地域事業者が抱える人手不足や生産性向上などの課題に対し、DXを手段として解決を図るものであり、スマートシティ推進協議会の取組の一つとして位置付け、検討を進める。

意見交換

閉会